

あがの 市議会だより

第37号

平成30年
6月定例会号
7月13日 発行

主な内容

議案ピックアップ②・議決結果	P2
常任委員会の活動ほか	P3～4
市政を問う一般質問(12人)	P5～7
議会報告会での意見ほか	P8



種目は
カラールンゲ

6/10 スポーツ&レクリエーションフェスティバル2018
気軽にスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくり、親子のふれあいを目的に、市と市スポーツ推進委員協議会が主催しました。フェスティバル会場の水原総合体育館には455名の来場者があり、この他にもさまざまなコーナーが設けられ、子どもたち、親子で楽しむ姿が見られました。

6月定例会が 6月7日～19日の会期で開かれました

7日 本会議

- 一般行政報告
- 議案の提案説明
- 一般質問1日目 (5人が質問)

8日 本会議

- 一般質問2日目 (7人が質問)

13～15日 委員会

- 各常任委員会で付託された議案を審査

19日 本会議

- 各常任委員会の審査報告のあと討論を経て採決

※議決結果は2ページ

議会の情報は市ホームページをご覧ください
<http://www.city.agano.niigata.jp/site/gikai/>



スマートフォン、タブレット
端末でもご覧になれます

議案ピックアップ①

議案を可決するまでさまざまな視点から審議を重ねています。今回審議した中から2つの議案の内容をお知らせします。

財産の取得について

主な内容

消防団小型動力ポンプ付積載車 10台を購入 60,353,416円

経年使用による事故の防止や機動力の強化、活動環境の向上を図るため取得するものです。

消防団小型動力ポンプ付積載車は、平成27年度から計画的に更新しており、平成29年度で累計更新台数は22台となっています。

来年度以降も計画的に更新し、消防団体制の強化を図っていきます。



昨年度購入の小型動力ポンプ付積載車



6/3 消防大会

議案ピックアップ②

一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出に4080万1千円を追加
補正後の予算額203億3746万3千円

主な補正予算の内容

■地域おこし協力隊起業支援補助金 270万円

任期終了後に起業する地域おこし協力隊員に対する起業支援補助金
・不登校児童生徒の情操教育等を含む学習塾を起業した1名に教室の賃借料、備品等の経費を助成します。《70万円》
・農業を起業する2名に農業用機械の取得費等の経費の一部を助成します。《200万円》

問 どのような起業をしようとしているのか。

答 農業支援を目的とした地域おこし協力隊のうち2名が9月末で退任される。
阿賀野市に定住し、市内の畑を借りて露地野菜などを栽培している。

■健康寿命延伸・生活習慣病予防医学講座寄附金 1000万円

市民の健康寿命の延伸を目的とした生活習慣病予防のため、新潟大学寄附講座を継続します。
(平成30年10月1日～平成33年9月30日まで3年間)



■健康と温泉フォーラム 2018 in 阿賀野市実行委員会補助金 40万円

10月18日～19日に阿賀野市旅館協同組合等が主体となり当市で開催されること決定。温泉による健康利用促進の啓発や地域振興などが期待されることから事業費の一部を助成します。

問 どのような構想で取り組むのか。

答 新潟治をテーマに、今までの入浴して病気を治す湯治から、温泉地周辺の自然・歴史・文化・食など地域資源を楽しみ、滞在を通じて心がリフレッシュできるような取り組みを計画している。

■地域連携プログラム作成活用支援事業費 12万円

児童生徒が地域に学ぶ教育活動(郷土調べ学習、伝統行事の継承等)について、より専門的な講師を依頼し、ふるさとへの愛着や誇りを醸成することを目的に行います。

■小学校教育振興事業費 30万9千円

学校教育を補助する地域コードイネーターを配置するモデル事業を安野小学校で実施します。

6月定例会の議決結果をお知らせします

全会一致で議決した議案等

議案名	審査した委員会※	議決結果
人事 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(山口 康雄氏)	省略	適任
阿賀野市税条例の一部改正について平成30年3月31日専決処分	省略	承認
専決 平成29年度阿賀野市一般会計補正予算(第9号)平成30年3月30日専決処分	省略	承認
平成30年度阿賀野市一般会計補正予算(第1号)平成30年5月2日専決処分	省略	承認
予算 平成30年度阿賀野市一般会計補正予算(第2号)	総文 社厚 産建	可決

議案名	審査した委員会※	議決結果
阿賀野市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について	総文	可決
阿賀野市学校給食センター条例の一部改正について	総文	可決
阿賀野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決
阿賀野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決
その他 字の変更について(上江端・寺社・小浮)	総文	可決
財産の取得について(小型動力ポンプ付積載車)	総文	可決
請願 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	総文	採択
意見書 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	省略	可決

※省略：本会議で即決したもの
総文：総務文教常任委員会
社厚：社会厚生常任委員会
産建：産業建設常任委員会

意見が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議長(高橋幸信)は採決には加わりません。

議案名	審査した委員会※	議決結果	公明党	日本共産党			新政クラブ		阿賀野クラブ					ネオあがの		会派の所属なし				
			村上 清彦	倉島 良司	宮脇 雅夫	稲毛 明	江口 卓王	近山 修	石川 恒夫	山崎 正春	浅間 信一	山口 功位	中島 正昭	風間 輝栄	市川 英敏	天野美三男	遠藤 智子	山賀 清一	清野 栄一	横井 基至
専決 阿賀野市国民健康保険税条例の一部改正について平成30年3月31日専決処分	省略	承認	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出に関する請願	総文	不採択	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
【請願の要旨】日本政府は核兵器禁止条約をすみやかに調印すること。それまでの間は、オブザーバーとして締約国会合および再検討会議に参加することを求める意見書を政府に提出してほしい。																				
討論(要旨) 賛成意見	国連での人類史上初の核兵器禁止条約の採択は、文字通り歴史的な壮挙であり、被爆者と世界各国の共同の取り組みが結実したものの。日本政府が、唯一の戦争被爆国の政府であるにもかかわらず、条約調印に背を向けていることは、内外の強い失望と批判を招いている。																			
討論(要旨) 反対意見	条約が核の非人道性を根拠として「核兵器は違法」との規範を初めて打ち立てたことは画期的な意義があるが、核保有国が加わらなければ実効性がない。日本は核保有国と非保有国との橋渡し役として核軍縮を具体的に進める役割を担うべき。																			
請願 憲法9条改定に反対する意見書の提出を求める請願	総文	不採択	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
【請願の要旨】憲法9条改定に反対する意見書を国の関係機関に提出してほしい。																				
討論(要旨) 賛成意見	本当に悲惨な戦争を体験して日本およびアジア、世界各国に多くの犠牲者を出してきた。そういう反省のもと生まれたのが現憲法であり、その中の憲法9条。これは日本の宝のみならず世界の宝である。改悪を主張する人がいるが、改悪は絶対に許してはならない。よってこの請願には賛成である。																			
討論(要旨) 反対意見	日本の領土・領海を、隙あらば自分のものにしようとする周辺国の動きは活発化している。平和主義は変えることなくこれからも持ち続け、周辺国の政治状況・軍事状況を見て、さまざまな角度と立場から改正に向け議論を活発化させなければならないのが現状である。																			

常任委員会の活動

議員はいずれかの委員会に属し、市の仕事を3つに分け関係する議案等の審査や調査を行います。
(ただし議長は常任委員になりません。)

総務文教 常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

一連の作業が効率的・衛生的に

安田学校給食センターの状況を調査（5月16日）

旧安田学校給食センターは建築後35年が経過し抜本的な改善が必要になったことから、旧山手小学校グラウンド跡地に移転改築され、4月から施設の供用を開始しました。

5月1日現在、1日に858食、安田幼稚園、安田小学校、安田中学校、県立駒林特別支援学校へ給食を供給しています。それぞれの学校の給食時間に合わせて約300食ずつ3回転する形で調理しています。

衛生管理を徹底する構造で、原材料を受入れる検収室や食品の選別・皮をむく・洗浄を行う下処理室、食品を切る・煮る・揚げる・焼く等を行う調理室、炊飯室、和え物室等があります。同じ下処理室でも肉・魚・野菜・果物と、食材別にそれぞれ独立した部屋単位の施設配置をすることで、食材搬入から給食搬出までの一連の作業を効率的・衛生的に行える施設となっています。

また、アレルギー食調理室が専門に設けられ、より安全性の高い対応が可能となっており、現在食物アレルギー対応食は16食作っているとのことでした。

現在、学校給食はなくてはならないものとなっており、子どもたちも美味しい給食を毎日楽しみにしていることと思います。

新しくなった安田学校給食センターは、安全安心で質の高い給食を安定提供できるようさまざまな機能が備わった施設となっています。

閉会中の継続調査事項(9月定例会まで)

土砂災害対策について



旧山手小学校のグラウンド跡地に3月完成



調理室で説明を受ける委員

社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

総合的な施策を展開

第3次阿賀野市障がい者計画・第5期阿賀野市障がい福祉計画・第1期阿賀野市障がい児福祉計画(平成30～32年度)を調査(5月11日)

「一人ひとりが生き生きと安心してともに支えあい笑顔で暮らせる地域社会を実現する」ことを基本理念に、物理的、精神的なバリアフリーの推進、自ら望む暮らしを選択できる社会の実現、乳幼児期から後期高齢期まで一貫した保健、医療、福祉、教育など総合的な施策を展開していきます。

それぞれの計画に評価指標、目標を設定。新潟圏域(新潟市、五泉市、阿賀町)と広域的な連携を図り、PDCAサイクルを実施していきます。

【施策の方向性】
①障がい者や障がいのある人に対する理解、啓発活動の促進
②地域社会の視点に基づき、市民ぐるみの支援の促進
③障がい者の生活向上につながる支援体制の充実
④いきいきと社会参加できる、地域環境の充実
⑤障がい児の健やかな成長のための支援体制の整備
⑥精神障がい者の施策の拡充
⑦差別のない地域環境の充実

委員からは、就労を支援する人材育成の必要性、物品等優先調達の内での更なる展開、グループホームの整備、投票所における点字投票への対応、精神障がいへのケア充実等について意見が出されました。今後の施策展開を注視していきたい。

児童生徒の見学に対応できる形を最優先に 五頭の麓のくらし館移転整備計画の進捗状況を調査(5月11日)

五頭の麓のくらし館、水原地区の農業歴史資料館、安田公民館内の出土品の展示館の3つを旧山手小学校に集積をして将来展示を行う計画の中で、老朽化が激しい五頭の麓のくらし館移転を優先的に進めているものです。

課題は、集積後いかに収蔵物を見せるか。施設をいかに広域的に活用していくかであり、関係課と協議を進めながら行っています。将来過大投資にならない

いように現在収蔵しているものを職員でできるものは移設し、それ以外を業者委託する考え方で進めてきました。完全な形で展示を待つからの開館では相当な期間を要するため、最低限児童生徒の見学に対応できる形を整えていくことを最優先に目指し、その後本来の計画に沿った形に順次整えていくことにしています。

委員からは、施設の人員配置、体育館の活用等の意見が出され

ました。膨大な量の収蔵物があり、限られた場所での展示方法に苦慮していると思われませんが、将来の完成形に向けてしっかりとした取り組みを期待していきたい。

閉会中の継続調査事項(9月定例会まで)

生活困窮者自立支援事業について



産業建設
常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

市内観光の拠点として一層の発展を

瓢湖の現状を調査（4月19日）

瓢湖の水面は、ハスの繁茂時期の前で水面が広く確保されて、枯れ残りのハスが散見されることなく、水鳥が活動する水面は十分確保されていました。これは昨年のハス刈りの成果であると考えます。

今後、ハスの鑑賞は東新池を主体とする計画で、現在、東新池を一周する歩道の整備が行われており、完成は6月頃の予定です。ハスがよく見え写真が撮れるようになってくるか。また、東新池は瓢湖水きん公園の一番奥にあり、周辺は背の高い草が茂り近づきたいという声を聞くので、東新池へ足を延ばしてもらうための方策を協議していく必要があります。

瓢湖水きん公園全体としては、利用者や維持管理施設のスペースとが混在しており、瓢湖の景観が損なわれていました。公園内にはさまざまな建築物があるので、建物の目的、景観と管理作業の効率性との両立を今一度整理し、さらに整備のための資材が観光客の目に触れるところに出ていたりしたので、公園利用者や観光客の目につかないところにしてしまうなどの配慮が必要です。視察当日は、小学生がスケッチしたり、保育園児が植物・水中生物の説明を受けていたりしていました。校外学習の場としても更に利用者を増やしていければよいと考えます。

観光客は目的の地にて、名所を見たり写真を撮ったり、食事をしたりするほか、小休憩で茶や軽食を取ります。しかし瓢湖は昼食時、観光客はほとんど立ち寄りません。

そこで、食事をするところや茶屋など軽食をする場所が必要で、湖畔には休憩所があります。外観など整備が必要です。

瓢湖は、特に重要な観光スポットであると同時に、まだまだ集客増が望める観光スポットです。瓢湖水きん公園を市内観光の拠点として一層発展させることは、市全体の観光振興につながると思います。国の天然記念物ならびに自然の水鳥が飛来する鳥獣保護区であることに考慮しつつ観光客を更に呼び込めるように、今後も瓢湖水きん公園の状況を注視していきます。

閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）
農産物加工場について



現地で説明を受ける委員。遊具の整備状況は良好



舗装された東新池の遊歩道（6月15日撮影）

平成29年度
政務活動費の収支を報告します

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、条例に基づき会派または議員に対して交付されるものです。

政務活動費は1人月額1万5千円。6カ月分ずつ2回に分けて交付され、残額は市に返還します。

（単位：円）

項目 会派名・氏名	収入	支出					計	残額 (返還額)
		調査研究費	研修費	広報費	資料購入費	事務所費		
日本共産党（3名） 福毛 明、宮脇 雅夫、倉島 良司	540,000	60,900		464,279			525,179	14,821
公明党（1名） 村上 清彦	180,000		62,602				62,602	117,398
新政クラブ（2名） 近山 修、江口 卓王	360,000		258,768		74,966		333,734	26,266
ネオあがの（2名）※ 天野 美三男、市川 英敏	495,000		194,212		5,661		199,873	295,127
横井 基至	180,000		94,770		48,980		143,750	36,250
清野 栄一	180,000			230,876			230,876	0
山賀 清一	180,000		127,220		80,760		207,980	0
風間 輝栄	180,000		154,690		38,598		193,288	0
中島 正昭	180,000		108,420	58,320	10,080		176,820	3,180
石川 恒夫	180,000		150,620		9,876	36,477	196,973	0
山口 功位	180,000		126,400		48,433		174,833	5,167
遠藤 智子	180,000		128,732		58,846		187,578	0
浅間 信一	180,000	2,643	84,000		99,450		186,093	0
山崎 正春	180,000		49,800		82,916		132,716	47,284
高橋 幸信	180,000		121,000		42,276		163,276	16,724
合計	3,555,000	63,543	1,661,234	753,475	600,842	36,477	3,115,571	562,217

注）広聴費、要請・陳情活動費、会議費、資料作成費、人件費の支出は、いずれの会派、議員とも支出0円でした。

※4～12月 3名（故雪 正文、天野 美三男、市川 英敏）



無会派
清野 栄一

五頭連峰における事故防止について

質問 今回の松平山の遭難は非常に残念な結果であり、心が悼む。登山では自己責任の部分もあり、山の難易度に合わせた準備が必要。また受け入れ側も事故が起きないように対応が必要であり、登山道・道標等の整備点検について伺う。

答弁 山開き前に警察、消防等と事前登山を行い点検している。

質問 市販やネットの地図等にも注意喚起の記載をしてほしい。

答弁 難易度や注意事項など、松平山の登山口看板も含めて注意喚起の記載をする。



阿賀野クラブ
風間 輝栄

生活保護の現状と課題

質問 生活保護受給に至る主な理由と現在の世帯数と総人数、国・市の負担額は。

答弁 受給世帯数226世帯、総人数280人で、理由は、傷病、障がい等による失業で収入が途絶えたことや高齢者の無年金、年金受給額の不足によるもの。平成29年度の扶助総額は約3億8千万円で国が4分の3、市が4分の1を負担。

質問 毎月支給で最低金額・最高金額と平均支給額、世帯類型別平均支給額の内訳は。

答弁 5月実績で最低0円、最

質問 新聞に消防の救助隊がコクラ沢の捜索を試みたが厳しくて断念とあるがいつか。

答弁 5月9日と16日。

質問 消防の雪山等における救助訓練はどのように行っているのか。

答弁 今年は2月に警察等と合同で行った。

質問 山からの119番通報で位置の特定は可能か。

答弁 五頭連峰においては、阿賀町分を除いて可能。

安田学校給食センターについて

質問 安田学校給食センターは総額8億2千万円、1日千食の能力で新築され稼働を開始。今後少子化の進展により、設備の大幅な余剰が懸念される。

答弁 今年4月の提供食数と6年後の状況は。

質問 安田の幼稚園、小中学校と県立駒林特別支援学校の生徒分が727食、教職員等分が131食の合計858食。6年後は児童生徒分が614食、教職員等分が125食の合計739食で119食の減となる。

質問 今後更に余力が発生するが。

答弁 調理員の定年退職等も見極めながら給食センターに集約する。

質問 他県では空き教室を利用して、高齢者を対象に給食サービスを実施しているところがある。検討願いたい。

答弁 課題があるが検討したい。

質問 課題があるが検討したい。

質問 課題があるが検討したい。



＜その他の質問＞
瓢湖の観光と環境について
（ハス刈の予定・かいぼり・北側の整備・校の植栽間隔）

外にも他制度を利用できる世帯には積極的に活用を促すことで生活保護費の抑制に努めている。

質問 今後の見通しと課題。

答弁 高齢者の受給の増加、失業による一時的受給者も横ばいで一定量あるものと考えている。生活保護に対する誤解や偏見が少なからずあることは承知しており、引き続き誤解や偏見をなくし、万一生活弱者となった場合でも、安心して暮らしている阿賀野市であるよう努めていく。

質問 生活保護費の抑制をするために、どのような取り組みをしているのか。

答弁 保護受給者の状態の把握に努め、積極的な就労支援を行っているほか、公的年金受給以



日本共産党
稲毛 明

農業問題について

質問 今日日本、阿賀野市農業にとって重要な時期になっている。TPP11、減反政策廃止など、市農業のこれからをどうするか。独自の政策をもって進んでいく必要があるのではないか。そこで伺う。

答弁 2015年農林業センサスによれば本市の農業収入のうち稲作によるものが7割を占め、昔と変わらず重要な産業である。今年度からは行政による生産数量目標の配分が廃止されたことで、コシヒカリ一辺倒から生

産者主体の需要に応じた米生産に移行した。これからは、今までの以上に農業所得の向上を図ることが重要となることから、JA等の認定方針作成者と連携して売れる米づくりを推進していく。特にコシヒカリや新之助など家庭用米だけでなく、外食・中食産業用の業務用米や非主食用として加工用米・飼料用米などの作付けに誘導し、主力品種の米価安定と生産コストの低減に努めることが重要である。

質問 米単独の所得補償などを立ち上げる等々どのように考えているのか。

答弁 米の直接支払交付金が多くなり、生産数量目標を達成していた農家を中心に影響があるものと考えている。需要に応じ

た米づくりが不可欠となっている。市単独の所得補償などは考えていない。

産地交付金を効果的に活用するなど、多様な経営を推し進めることで、足腰の強い農業経営体を育成していきたいと考えている。

質問 米の直接支払交付金が多くなり、生産数量目標を達成していた農家を中心に影響があるものと考えている。需要に応じ

た米づくりが不可欠となっている。市単独の所得補償などは考えていない。

産地交付金を効果的に活用するなど、多様な経営を推し進めることで、足腰の強い農業経営体を育成していきたいと考えている。



無会派
遠藤 智子

伝統工芸の継承支援

質問 今板地区は古くから五頭山嶺一帯から取れる良質な竹を使った竹細工が盛んで、80数年前には夢二籠の製作依頼もあつたと聞く。現在は、故小林ミドリさんの2人の娘さんが竹籠作りを継承されていて、昨春秋に竹籠作りの職人を目指し、技を磨き伝統工芸を未来に継承したいとの志を持った若い女性が、長岡市から当市に移住し、現在地元の人に勤務しながら小林さんの娘さんから竹籠作りの技術を学んでいる。「竹籠の良さを後世に伝えるには、若い人の力が必要」と指導を引き受けら

れたとの内容で新聞で紹介があった。

質問 地域に伝わる伝統工芸の継承は重要であり、地域おこし協力隊に準ずる支援の検討と市内に伝承されてきた伝統工芸にあつても、次世代に伝承できるように市の独自性を持った支援は考えられないか。

答弁 当市の伝統工芸品として、地域独特の原材料や技術、技法により受け継がれてきた山口人形、竹籠、庵地焼・安田焼・笹神焼などの焼き物、染め物など、子、孫などの親族で受け継がれている。高齢化や後継者がいない、工芸品だけでは生計が成り立たないなどの課題が聞かれ、その課題解決に向け、地域おこし協力隊に準ずる支援を含めどのような支援をすべきか聞き取りを行いたい。

な。なお、県内自治体の継承支援状況は、長岡市が指定工芸品の

後継者育成に取り組む事業者支援、他の自治体では、展示会、見本市など販路拡大支援をしている。

国では、経済産業大臣が指定した工芸品組合等に後継者育成に取り組む支援があるが、今後市の伝統工芸品が将来に継承できるような自治体の取り組み事例を参考に、効果的な支援方法を検討したい。



夢二籠



日本共産党
宮脇 雅夫

子どもの貧困対策 推進を

質問 市が実施した子ども生活実態調査によると、世帯年収400万円以上は49・4%で県平均より10%低い。世帯年収200万円以下の世帯で、父子・母子家庭の割合は40・7%であり、地域や社会で普通とされている生活ができない状態、平均所得の半分以下の世帯である相対的貧困世帯数は325世帯で相対的貧困率は17・9%(国16・1%)となっている。



公明党
村上 清彦

マイナンバー制度の 活用について

質問 マイナンバーを活用した行政手続きの簡素化が昨年11月から大きく前進。住民が社会保障関連の給付を役所窓口で申請する際、これまで必要だった住民票の写し等の書類提出が不要となる。マイナンバーの個人向けサイト「マイポータル」では、住民情報のやりとりした履歴を確認できるほか、保育・幼稚園への入園申請といった子育て関連サービスが申し込めるなど利便性が高いものである。コンビニでの証明書交付をはじめ、マイナンバーカードを活用して

答弁 相対的貧困率が国より1・8%高いことについて、深刻に受け止めている。市の貧困対策推進計画を今年度末までに取りまとめることを目指し、関係課と議論を進めていく。

子ども医療費の 無料化に踏み出せ

質問 県は今年度から、子どもの医療費助成交付金の対象を小学校3年生から6年生までに拡大した。当市では現在高校卒業まで医療費の助成をしているが、通院530円、入院1200円の個人の一部負担がある。県内では、通院や入院の一部負担金を補助し無料化の自治体は10自治体ある。例えば、阿賀町・南魚沼市では、入院・通院とも就学前まで全額補助。新発田市では中学校卒業まで、魚沼市では高校卒業まで入院全額補

助。湯沢町では高校卒業まで入院・通院とも全額補助し、完全無料化している。子育て支援や子どもの貧困対策のためにも、阿賀野市も無料化に踏み出すべきだ。



「子育てファイル」 の導入について

きる分野は広がりつつあるが、当市における制度の現状と今後の展開を伺う。

答弁 保護者が子どもの成長をきめ細かく見守り、子どもに関する情報を保護者の下で一元管理できる子育てファイルが各地で活用されている。子どもの発達に不安を抱える保護者が、相談や支援を必要とした時、支援に関わる機関がファイルの内容を参照することで、より適切な支援を受けることが可能となる。当市での導入について見解を伺う。



空き家対策について



ネオあがの
市川 英敏

質問 日本の人口は、2050年には9700万人になり、後期高齢者の割合は約24・6%になると予想される。少子高齢化の顕著な表れが空き家問題であり、子どもが少なくなり高齢者が増加して人口が減少すると、住宅の需要は必然的に減少し、その結果使用されない住宅、すなわち空き家が増加することになる。

る問題が生じており、これらの問題が一層深刻化することが懸念される。平成27年に施行された「空き家対策特別措置法」を踏まえ、空き家解消に向けての本市の取り組み、今後の方向性、対応を伺う。

答弁 これまでの取り組みとしては、条例に基づく実態調査を行い、管理不全空き家48件の所有者に助言や指導による適正管理を促した。特措法に基づく空き家等対策計画の策定を行い、建物の安全性、公衆衛生、景観、防犯、生活環境などを含めて約700件の空き家について実態を調査し、倒壊の危険性がある特定空き家等へ認定された場合、所有者に対し適正な管理を促す。今後も市民の安全・安心のため、空き家等の適正管理と有効利用をしていく取り組みを進める。



ネオあがの
天野美三男

合併特例債再延長に ついて

質問 合併した市町村が公共施設の整備などに充てる「合併特例債」の発行期限を再延長する改正特例法が、今年4月18日の参院本会議で可決、成立した。発行期限を5年間延長し、東

日本大震災で被災した市町村は合併後25年間、それ以外の市町村は20年間とする。特例債は「平成の大合併」を促すため、2005年度までに合併した市町村を対象とした優遇策の一つで、合併が必要となる新庁舎などの施設整備費用に充てられる。国が返済額の7割を負担し、阿

新潟県中山間地域等 農業活性化対策

質問 以前に中山間地域等直接支払制度を活用した取り組み事例等があるが、今年度阿賀野市では実施地域はあるのかと今後予定地域を検討しているのか伺う。

答弁 中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる地域は、笹神地区の15集落で取り組みを行っている。今後新たな予定地域はない。現在の中山間地域等直接支払制度は平成27年度から31年度までの取り組みである。



空き家・空き地の有効活用を目的に行っている空き家・空き地バンク制度(市HPで登録物件の情報をお知らせしている)





日本共産党
倉島 良司

学校給食の保護者負担軽減を

質問 学校給食費の無料化や助成等で保護者の給食費負担を軽くしている自治体が増えていると言われている。新潟日報によれば本県でも5市町村が無料化したり助成制度を設けたりしていることが報道されていた。しかし、財政難がネックとなり二の足を踏む自治体が多いという記事だった。

当市でも何人かの議員が、給食費用の保護者負担軽減を迫った経緯があったが、残念ながら学校給食よりも優先するものがあるという答弁で、学校給食の

無料化は時期尚早。やり過ぎではないか」というびつくりするような答弁もあった。憲法26条は「義務教育は、これを無償とする」とされており、学校教育法では、給食を学校教育の一環と位置付けている。給食は食への教科書と強調された栄養士さんの言葉を思い出す。

子育で環境日本一を目指す市長として、学校給食の保護者負担軽減に踏み出す考えはないか尋ねる。

質問 学校給食の無償化は、子どもの貧困対策、子育て支援、少子化対策に有効な施策と捉えており、こうした動きが広がっていくことは承知している。

しかし、これまでの議会一般質問に答えたとおり、財政規律やコンピューター環境整備、洋式トイレ整備などの教育環境整備を優先し、次の段階で検討していく考えに変わりはない。



新政クラブ
江口 卓王

自治会側溝清掃補助金について

質問 側溝清掃を業者に委託した場合、補助金の上限は3万円である。高齢化が進み、若手の人手不足もあって業者に委託せざるを得ない。委託費用が重くのしかかっており、補助額アップの声は切実である。市の考えを伺う。

答弁 これまでは土砂運搬のダンプトラックの手配や側溝の蓋上げ器具の貸し出しなど協働作業に対する支援を行ってきたが、高齢化等により、業者に委託せざるを得ないケースも出てきたことから平成28年度から上限を

3万円として補助する制度を創設した。



市営バスの運行について

質問 昨年の12月から2路線においてデマンド交通（予約バス）の試験運行を実施。利用者からは「以前の運行が良い」との声。今後どうするのか伺う。

答弁 市ではこの実証運行の結果を踏まえ、運行内容を一部見直し、6月から11月まで実証運行を継続する。今後については、秋に阿賀野市地域公共交通協議会を開催して検証を行い、方向性を決めたい。



無党派
山賀 清一

市の活性化策について

質問 市長の考えを聞いていると、どのような状況になると給食費の軽減になるのか、めどがなかなかつかない。子育て環境日本一はまったく見えてこない。どうなるのか。

質問 日本経済成長率2%目標にはほど遠く歯車が噛み合わない。地方創生も末端までは浸透せず、地方の創意工夫、知恵の不足しているところ。仕事があつてはじめて雇用、所得に結びつく。まずはこの基本的なことを捉え、積極的に徹底してみる時代である。この点の検討、考えはどの程度か。全般的に仕事がなくもつと幅広く公平公正に配分をするべきである。ますます疲弊感が起き、元気がなく不安が立ち、市内の景気に大きく左右する。問題には結果の積



政治の公平性について

質問 「森友・加計」疑惑、自衛隊「日報」隠ぺい、財務事務次官のセクハラ疑惑…。安倍政権に関わる疑惑が次々と明るみに出て、「うみを出し切る」どころかたまるばかり。市政の運営など鑑みて市長の所見を伺う。

答弁 このたびの一連の問題は、行政に対する国民の信頼を大きく失わせている。情報公開および公文書管理の不徹底や全体の奉仕者である公務員が倫理そのものにも認識が欠如していたのではないかと思う。

当市においても、改めて公務員たる公務員の特性を再認識し、公務員倫理を順守していく。



無党派
横井 甚至

国際交流協会の設置を

質問 グローバル人材の育成、地域産業の更なる成長、国際理解推進、留学支援等を行い、地域レベルの国際交流を図るため国際交流協会を設置するべきではないか。

答弁 まずは国際交流にかかわる市民の関心度の向上を図ることが必要。既存の事業を推進、充実させる中で市民レベルにおける交流活動の活性化を図りながら、国際交流協会設立を検討する。

質問 インバウンド（外国人旅行者）取り込みのため、現在行

み上げが有効打である。

一級二級関係河川の維持管理だけでも相当な事業量があり、道路舗装の修理等を含め市民ニーズに応えるべきである。環境・美観・景観が非常に手遅れのために安全が損なわれる。市の負担を少なくするのは努力次第である。この点の配慮が足りないと思われるがどうか。

市民から要望、請願、陳情等をどう消化しようとするのか、税率が上がっているのか、税収の面から非常に大切なことである。

質問 工事の分離発注については、工事内容や規模のほか、現場条件等を総合的に勘案し、できるだけ受注機会の確保に努めている。上下水道については一定の規模の公共事業者等にも配慮した発注を行っている。

要望等については概ね5割程度の実施状況である。

っていることや展望を伺う。

答弁 連携中枢都市圏（主に新潟市）と連携しているが、情報提供や担当者のセミナー程度である。

質問 市からホームステイへの支援をどうするか。

答弁 現在行っているのは、要検討である。

意見 国際交流関係は、市長政策・市民協働課が担当しているが、市民から分かりにくいので、市ホームページにも明示すべき。情報提供やセミナーで得た情報を市内民間業者にも伝えるべきである。

道の駅は観光の顔他に勝るものを

質問 市民からは、特色があり賑わいがある道の駅ができるのかという心配の声が上がっている。



市の一斉健康診断について

質問 市の集団健診は、市民に本当に安心を与えられる検査と考えるにくい。手遅れの患者も発生し亡くなられた。検診結果を信用してもこの始末。どう説明するのか。

答弁 がん検診を毎年受診しても各がんの形や場所によって早期発見が難しい場合もある。今後も集団健診は、がんや生活習慣病の早期発見に有効な手段であるため、引き続き受診率の向上に努める。

答弁 地場産の農産物直売所、物産販売所、飲食施設を設置し地域経済の活性化を図りたい。

質問 道の駅内の子どもが遊ぶ施設は、車や利用者からの安全は確保されるのか。

答弁 一般の利用者の休憩所とは別にプレイルームを設置する。

質問 指定管理者の決定はいつか。

答弁 来年度をめぐりに決定したい。

質問 スターバックス等のコーヒー店やコンビニを誘致できるのか。

答弁 テナント交渉をしっかりとやっていきたい。



道の駅米沢を視察

議会報告会を開催しました

3月定例会の報告(平成30年度当初予算の概要など)の後、人口減少をテーマに意見交換

質疑、意見の一部を紹介し
ます。なお、掲載内容は要
約してありますのでご了承承
ください。
詳しい内容は、市ホーム
ページ「市議会のページ」
に掲載しています。

問 空き家対策の具体案は。対
策してほしい。

答 市も困っている。所有者等
を調査し、状況の通知をた
びたびしているが今のところ
効果がないようだ。市で
処理することも難しい。

問 税の申告相談の受付時間が、
今年から午前9時〜11時に
なり混雑していた。来年も
同様か。

答 非常に混雑していたことは
承知している。行政側に伝
える。
市では税務署からの指導の
もと、申告書の自己記載を
推進している。

問 阿賀野高校の存続について
市も関係者もそれぞれに対
応、対策を話し合っている。
また、経済団体も力を貸し
て雇用協力などもしている。
今後も存続のために必要な
ことはしなければならぬ
し、地域的にも必要と考
えている。



3/18 小路自治会(安田地区)で開催(43人参加)



4/7 草水自治会(安田地区)で開催(17人参加)



問 市の防犯灯補助金は5年〜
10年と聞いているがいつま
でなのか。
市管理の防犯灯は5年を
めにLED化を進めている。
自治会の防犯灯に関しては
10年間補助がある。(2年
経過済)

問 防災行政無線が聞き取れな
い。熊出没など無線で知ら
せてもらいたい。聞こえ
ないと不安だ。改善はでき
ないのか。

答 議会報告会で聞こえないと
の苦情が多い。個別での無
線機の購入は高額になる。

問 大室浄水場の放射能汚染状
況について教えてもらいた
い。

答 現在でも定期的に検査して
いる。汚泥も定期的に搬出
処理している。高濃度汚泥
については安全に保管して

問 鳥獣対策について。阿賀野
川にカワウが出没して魚が
いなくなる。対策を取らな
いと大変なことになる。

答 いる。水道水に関しては安
全である。

問 政務活動費はどのように活
用しているのか。

答 政務活動費は1人月額1万
5000円で、研修費用等
に活用している。議員で活
動費はチェックしている。

★平成29年度の収支報告を
4ページに掲載

いただいたご意見を参考に、
政策立案等に役立てていき
たいと考えています。これ
からも多くの市民の皆さま
からご参加いただきますよ
うお願いいたします。

次回9月定例会の予定

8月27日の議会運営委員会で正式に決定します。
その後、市ホームページでお知らせします。

月 日	会 議 名
8月27日(月)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
9月 5日(水)	本会議 (議案上程、一般質問)
9月 6日(木)	本会議 (一般質問)
9月 7日(金)	本会議 (一般質問)
9月11日(火)	総務文教常任委員会
9月12日(水)	社会厚生常任委員会
9月13日(木)	産業建設常任委員会
9月14日(金)	決算審査特別委員会
9月18日(火)	
9月19日(水)	
9月21日(金)	本会議 (委員長報告、採決)

スマートフォン・タブレット用アプリ

マチイロ

で あがの市議会だよりが読める!

利用の手順

1. 検索サイトで「マチイロ」と検索し、アプリをインストールする。
2. アプリを起動し、「お住まいの地域」を「新潟県阿賀野市」に設定する。
3. アプリ画面から「あがの市議会だより」の画面をタップし、ダウンロードする。

■注意事項

- ・「マチイロ」は株式会社ホープが運営するアプリです。
- ・アプリは無料でダウンロードできますが、通信料が掛かります。
- ・アプリ画面には広告が表示されますが、市がその内容に責任を負うものではありません。

議員表彰

6月7日全国市議会議長会、北信越市議会議長会からの表彰状が倉島議員、稲毛議員へ伝達されました。



写真左から
倉島良司議員 (議員在職20年以上)
稲毛 明議員 (議員在職15年以上)

※在職期間は、合併前の町村議員在職期間を表彰規程により換算 (在職年数の2分の1) してあります。

議長へ感謝状

高橋幸信議長へ全国市議会議長会から地方財政委員会副委員長としての活動に対し感謝状が贈られました。

議会を傍聴しませんか

どなたでも自由に傍聴できます。
市政を知る良い機会です。
みなさん議会傍聴においでください。
詳しいことは議会事務局までお問い合わせください。

発行：阿賀野市議会
編集：議会改革推進特別委員会 広報部会
〒959-2092
阿賀野市岡山町10番15号
TEL：61-2489
FAX：61-2067
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

次号は
平成30年10月15日発行の予定です。

議会改革推進特別委員会 広報部会
部長 山賀清一
副部長 横井基至
倉島良智子
遠藤智子
風間輝栄

私たち広報部会では市民の皆さまにとつて、身近な市議会となれますよう、分かりやすい情報発信を心掛け、議会だよりの作成をしております。
今回の号から紙面の構成デザインを大きく変更して、お届けさせていたただいております。以前より分かりやすく、読みやすい紙面となりましたでしょうか？
さらに良い議会だより作成のため、皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。
広報部会副部長 横井基至

編集後記

